

20057

冠動脈穿孔に対して Guidezilla 併用下で GRAFT MASTER を留置し、Bail out できた 1 例

症例は 79 歳、男性でシンチにて RCA 領域の虚血を認め、自覚症状も強く PCI を施行することとなった。腎機能低下もあり、IVUS guide で low contrast PCI にする方針とした。7Fr システムで治療を開始し、IVUS が不通過であり、Rotablator にて治療を行う方針となった。Rotawire Extra Support で 2.0mmburr にて ablation 開始。#2 の病変部は問題なく削れたが、#2distal で burr が stac するも、抜去はできた。しかし Rota burr の破損が疑われたため、1.75mmburr に size down して #2distal のみ ablation し、IVUS にて観察した。この時点では問題なく、3.5mm で前拡張を行い、遠位部から #2 に Guidezilla 併用下で、EES 3.5*48mm を留置、つなげて #1 に ZES4.0*26mm を留置した。IVUS にて観察すると、冠動脈穿孔を疑う像が観察され、造影で stent の接合部からの穿孔を認めた。GRAFT MASTER をデリバリーしようと試みるも stent 拡張不良もあり、不通過であった。ただちに 6FrGuidezilla を併用すると、GRAFT MASTER が通過し、留置して Bail out できた。Covered Stent は留置するときに不通過のケースはたびたびあり、complex なケースでは Guidezilla などの guide extension が有用である症例を経験したため報告する。